

お話あそび『どんぐりころちゃん』 落ち葉に隠れよう

教科・場面

生活

授業・実践のねらい

- ・ 友だちを意識して活動に取り組む。
- ・ 隠れている人を見つける、見つかったことに気づく。

対象の児童・生徒

小学部1年生10名(男子6名女子4名)

- ・ 教師や友だちに注目したり、追視したりすることができる児童が多い。



教材・教具

- ・ 絵本『どんぐりころちゃん』
- ・ どんぐり
- ・ どんぐり帽子
- ・ 落ち葉を模した隠れ場所



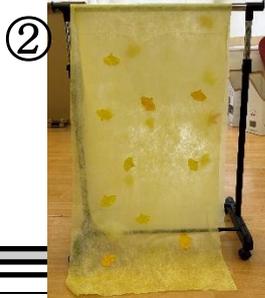
工夫したところ

- ・ 絵本の Key note に動きや効果音をつけた
- ・ 様々な隠れ場所を用意した。

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

- ・ 絵本『どんぐりころちゃん』はどんぐりがやってきて次第に増え、最後はリスから逃げて落ち葉に隠れるお話である。繰り返しのある内容にわらべうたが挿入されている。
- ・ 1回目の授業では絵本に出てくるどんぐりに親しむため、どんぐりマラカスを作った。2回目以降も絵本の読み聞かせをする前にどんぐりに触れる時間を設けた。
- ・ 絵本に挿入されているわらべ歌でふれあい遊びをした。(曲に合わせてあたまやおしりに触れる)
歌詞：どんぐりころちゃん あたまはとんがって おしりはぺっちゃんこ どんぐりはちくりしょ
- ・ どんぐり帽子をかぶってどんぐりに変身する様子を見合っ。変身するときに効果音を付けた。
- ・ 落ち葉に隠れる活動を行った。

①不織布②不織布をかけたキャストラック③落ち葉模様の大きな箱④クラフト紙製の落ち葉



授業・実践を通じた児童生徒の変容

- ・ 活動を繰り返すことで見通しをもち、意欲的に活動に参加する様子が見られた。
- ・ 自ら友だちに手を伸ばしたり、友だちに触れると笑顔になったり友だちとのふれあい遊びを楽しんでいた。
- ・ 布を引っ張って隠れている教師や友だちを見つけることを楽しむ姿が見られた。

